

# CASBEE® - 建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)堺区南島町物流センター計画	階数	地上4F
建設地	大阪府堺市堺区南島町5丁162番	構造	S造
用途地域	工業地域、法22条地域	平均居住人員	20人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年9月 予定	評価の実施日	2015年9月10日
敷地面積	15,373 m <sup>2</sup>	作成者	(株)奥村組
建築面積	5,038 m <sup>2</sup>	確認日	2015年9月10日
延床面積	30,782 m <sup>2</sup>	確認者	(株)奥村組



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**= BEE1.3**

★:S:★★★★★ A:★★★★★ B+:★★★★ B:★★★ C

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%  
②建築物の取組み 84%  
③上記+②以外の 84%  
④上記+ 84%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質 Qのスコア= 2.8**

#### Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.4

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.3

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.1

**LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.6**

#### LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.2

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.2

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア=3.1

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
情報化時代に相応しい高度情報通信環境となるよう計画し、建物外観は近隣建物や周辺環境との調和に配慮した色調とした。	特になし
<b>Q1 室内環境</b> 内装仕上げ材は化学汚染物質の発生しないものを採用している。	<b>Q2 サービス性能</b> 耐久性があり維持管理のしやすい材料を採用している。
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 可能な限り緑地および空地を確保し敷地内の環境向上に配慮している。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 可能な限り緑地および空地を確保し敷地内の環境向上に配慮している。
<b>LR1 エネルギー</b> 設備機器については出来る限り高効率のものを採用している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水型器具、自動水栓器具を採用し水資源の節約に配慮している。
<b>LR3 敷地外環境</b> 適切な光源を採用して光害のないよう計画し、建物外壁は反射光に影響ないように配慮している。	<b>LR3 敷地外環境</b> 適切な光源を採用して光害のないよう計画し、建物外壁は反射光に影響ないように配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	(仮称)堺区南島町物流センター計画	BEE	BEEランク
	建設地	堺市堺区南島町5丁162番	1.3	B+
	主用途/延床面積	工場 / 30,781.51 m <sup>2</sup>		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO <sub>2</sub> 削減	4	● ● ● ● ●
省エネ対策	4	● ● ● ● ●
みどり・ヒートアイランド対策	2	● ● ● ● ●
安全快適な暮らし	3	● ● ● ● ●

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア					
CO <sub>2</sub> 削減	評価項目			スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値			3.6	4
省エネ対策	評価項目			スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.2」のスコアによる評価値	建物全体	3.0	4	
		住居・宿泊部分	0.0		
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値				0.0
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値				3.0
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値				5.0
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値				3.0
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値				3.4
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目			スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値			1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値			2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値			2.0	
安全快適な暮らし	評価項目			スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値			3.0	3
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値			3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値			2.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値			3.0	

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特になし	
特に配慮した事項	
情報化時代に相応しい高度情報通信環境となるよう計画し、建物外観は近隣建物や周辺環境との調和に配慮した色調とした。	